

2019年1月27日

プレミアリーグ（以下PL）、シリーズA（以下SA）など
WKFオープン大会でのコーチ配置について

（公財）全日本空手道連盟
選手強化委員会

現在選手強化委員会ではTOKYO2020スタンディングス（以下OSという）2位までの選手を対象に担当コーチを設け、専任して強化活動や大会帯同を行なっております。強化委員会として大会に派遣する担当コーチは大会時に担当選手を最優先してコーチングし、最大の成果を出せるように努力しております。

そのような中課題となっているのは、大会現場で参加する（自費参加含め）ナショナルチームの選手数、派遣コーチの人数によりコーチボックスに付けない選手がいることです。

ご存知のように組手競技ではビデオレビューが採用されており、この要請はコーチボックスにいるコーチしかできません。つまりコーチボックスにコーチがいない状況はそれだけで不利となってしまいます。

そのため、選手強化委員会では以下の条件で、WKFの認定コーチ（PL、SAでコーチングできる資格）の受講を促したいと考えます。

所属選手がPL、SAに出場される所属先の関係者は、下記を参照の上、WKF認定コーチ講習を受講し、所属選手へのサポートをご検討ください。

【受講対象】

- 1、出場選手の所属先コーチ（帯同できる関係者含）
 - 2、出場選手
- ※受講はWKFサイトで各自申し込み（自費）

【今後の大会でのコーチ状況（原則）】

- 1、ナショナルチーム派遣のうちOS2位までの選手 → 原則は担当コーチ
※試合が重複する場合2位の選手には他の（担当コーチ以外の）ナショナルチームコーチが付くこともある
※なお、形の選手においては現在OS1位の選手にナショナルチームコーチ（原則担当コーチ）が付いているが、2位以下の選手において同受講対象の考え方は同様。
- 2、ナショナルチーム派遣 → ナショナルチームコーチまたは所属先コーチ（帯同できる関係者含）または、他の選手
- 3、自費選手 → 所属先コーチ（帯同できる関係者含）または、他の選手

※2、3の場合で状況によりコーチボックスにコーチが付けない可能性もある。

問い合わせ （公財）全日本空手道連盟 事務局（担当 林・松下）
電話 03（5534）1951